



学校だより 4月 第342号

平成31年4月5日 発行

横浜市立六つ川西小学校 (TEL) 742-6301 (FAX) 743-2394

URL <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mutsukawanishi/index.html>

自分からかかわること 共に育つこと

学校長 小倉 睦

4月1日は、新しい年度の出発にふさわしい、さわやかな朝でした。青空に富士山がくっきりと姿を現し、子どもたちの進学、進級をお祝いしているかのように見えました。校庭の桜の花はこのところの肌寒さのおかげで、花を開いたまま、じっとこらえ、今日の始業式、入学式を待ってくれていたようにも思えました。

「平成」に代わる新元号が「令和」に決定し、本年度がスタートしました。間もなく平成が終わり、5月から令和元年が始まります。安倍総理は会見で、「令和には、人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つという意味が込められている」と述べました。六つ川西小学校でも、子どもたちが友達と心を寄せ合わせて、よい学び合いが育つように指導していきたいと思えます。

さて、春休みに元気をいっぱい蓄えた子どもたちが登校してきました。どの顔も輝き、明るい声が響き合っていました。新1年生57名と新しい教職員を迎え、新たな1年がスタートしました。

今年度は、学校教育目標「かがやき ひびきあう六つ西の子」達成に向けて、児童に「自分からかかわること」と「共に育つ」ことの2つのことを話したので、ご家庭におかれましても話題にさせていただき、ご協力いただければありがたいと思えます。

1つは、『自分からかかわる』ことです。これは一人一人が自分の力で考え、自分で選んだことに自分から進んでかかわる力をつけることです。それぞれの発達段階に応じて、「どれにするのか」「何をつくるのか」「だれに聞くのか」「どこに行くのか」等々。自分で決めて行動することを大切にしたいと思えます。

2つ目に『共に育つ』ことです。学校生活は集団生活を行う場です。学校では学習に取り組むのにも当番や係の活動をするのにもいろいろな思いや考えをもつ人が一同に集まって生活しています。困っている人がいたら「どうしたの?」と声をかける、逆に自分に分からないことがあったら、「分からないから教えて。」と声をかけられるなど、自ら人とかわりながら、学ぶことができる人になってほしいと思えます。何か分からなかったら人に聞く、分かった人は分からない人に教えるといった当たり前のコミュニケーションができるようにすることを大切にします。

ところで3月号の学校だよりでもお知らせしましたが、今年度の六つ川西小学校では2020年新教育課程の全面実施に向けて次の2点について見直しを行います。

1つは、社会に開かれた教育の実現のために「六つ西地域学校協働本部」を立ち上げ、学校サポート体制の充実を図ります。そのため、保護者、地域の方へ31年度「六つ西支援ボランティア」のご案内を年度末に配布させていただきました。新1年生の保護者の方へは、本日5日付で同案内プリントをお配りしました。

2つめに、学校教育目標の具現化を図るため、4～6年の集団宿泊活動、全学年の遠足等の系統性を見直しなど「共に育つ」ための学校行事の見直しを行います。

本年度も保護者、地域の皆様と協働して六つ西の子どもたちを育てていきたいと思えます。ご支援・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。